

学校の様子・子供の様子①

*** 旅の学校（6年生） ***

4月24日(水)～26日(金)、6年生は「旅の学校」でした。

2泊3日の旅程で、1日目は広島で平和学習、宮島手前の宿に宿泊しました。2日目朝に宮島に渡り、厳島神社の見学、昼食にお好み焼き作りの体験、岡山の鉄鋼メーカー見学、赤穂に移動宿泊しました。3日目は姫路城と姫路セントラルパークで過ごし、夕方鳥取に帰ってきました。

今年の6年生も、5年生のときに、鳥取大学の高橋健司先生（社会科の共同研究者）のゼミ生の授業で、アメリカ人のシュモー氏について学んでいました。その事前学習をもとに語り部の方から話を聞き、資料館の見学や碑巡りで学習を深めました。伝統である「夜の平和学習」でも、一人一人が平和についての意見をしっかりと発表しており、頼もしい“附属の子供”を県外でも感じることができました。



*** 砂の学校 ***

5月9日に「砂の学校」を、2年ぶりに鳥取砂丘で実施しました。

砂丘の大自然に全校児童がふれ、各種の運動に親しむことを通して、学年を解いた縦割り班活動で交流を深めるとともに、協力することの大切さを体験するというねらいとして、きょうだい学級で一緒に歩いたり、縦割り班で競争したり弁当を食べたりしました。他の団体が全くおらず、附属小学校の子供たちだけで思いっきり活動し、楽しむことができました。

競技は「中距離走」「まっぼっくり拾い（下学年）」「砂盛り競争」「綱うばい（上学年）」の4種類でした。「中距離走」では、砂丘特有の起伏のある斜面を元気よく走り抜けました。あとの競技でも、友達や自分のチームの人を応援したり、応援の声を精一杯出したりして、会を盛り上げようとする姿が見られました。

今後も学校での「わくわくタイム」などで、継続的に異学年の友達との関わりを通して、集団で生活する上での関係づくりやコミュニケーションの力を育てていきたいと考えています。

